

質問26

魚にはどんな模様や色があるのですか？（小4女子）

答え

魚にはいろいろな模様や色のものがありますが、北海道のまわりにいるものを中心に紹介します。

【模様】

縦ジマ模様 ~ 頭から尾ビレにのびるシマ模様。北海道のまわりではシマゾイなどに見られます。

横ジマ模様 ~ 背から腹部にのびるシマ模様。ホッケの仲間のキタノホッケ（ふつうシマホッケ、タイガーなどとよばれています。）が黄色と黒のシマ模様をもっています。

なお、あたたかい海にいる魚なので北海道ではあまり見る機会はありませんが、映画で有名になったニモ（カクレクマノミ）も横ジマ模様の魚です。

まだら模様 ~ 代表例は、マダラ（模様どおりの名前です）です。

黒点 ~ マイワシ、マスノスケなどに見られます。

その他、サケの仲間の魚には、子どもの時にだけパーマークといわれる点々が見られるものがあります。

【色】

赤色 ~ キチジやメヌケ、アラスカメヌケなどの深いところにすむ魚が代表選手です。お店では「赤魚」として売られていることもあります。

また、魚ではありませんがケガニの殻なども赤い色をしています。

青色 ~ はっきりした色ではありませんが、イワシやサンマが青っぽい色に見えます。これらはウロコをたくさんもち、光を反射しているため、青というより銀色に見えるかもしれませんが、これら魚はふつう青魚と呼ばれています。主に海の上の方を泳いでいる魚に多く見られます。

茶色・黒色 ~ カレイやヒラメの目のついている方や、ホッケなど海の底の方にすむ魚に多く見られます。

その他の色 ~ 黄色：ヤナギノマイ、緑色：ハタハタ、白色：シラウオ など

北海道の魚は、あたたかいところにすむ「熱帯魚」ほど鮮やかな模様、色ではありませんが、生活する場所におうじているいろいろな特徴がありますので、もっともっと調べてみてください。

なお、似た質問がほかにもありますので、参考にしてみてください。

質問5、質問9